



日本骨髄バンクの現状（平成 27 年 5 月末現在）

	4 月	5 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,099	2,424	451,982	639,598
患者登録者数	295	240	2,767	45,010
移植例数	97	93	—	18,253

■5 月年代別ドナー登録者数（現在数）

10 代	2,510 人
20 代	70,916 人
30 代	144,687 人
40 代	184,369 人
50 代	49,500 人

■5 月の 20 歳未満の登録者 392 人

注)平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■5 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／560 人、献血併行型集団登録会／1,763 人、集団登録会／58 人
その他／43 人

■5 月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数:105 件

注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 コーディネーター養成研修会受講者募集について

今年度、下記の地域においてコーディネーター養成研修を行います。収入の多寡にかかわらず、この仕事を社会貢献と捉えて活動できる方を募集します。お知り合いや周囲の方でコーディネーターに興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非とも応募のお声掛けをお願いします。

「募集要項」は、コーディネーター、調整医師の方々へ今号のマンスリーに同封してお送りしています。当法人ホームページでもご覧いただけます。(http://www.jmdp.or.jp/)

<募集概要>

◆募集地域（以下の地域で活動できる方）

北海道地区：札幌、函館、旭川、釧路

東北地区：青森、岩手、宮城、福島

関東地区：東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃木、群馬、新潟、長野

中部地区：静岡、福井、三重

近畿地区：京都、滋賀、大阪、兵庫、和歌山

中四国地区：鳥取、広島、山口

九州地区：福岡、大分、長崎、熊本、沖縄

◆募集人数

各地域とも若干名

◆研修期間

平成 27 年 8 月 29 日～平成 28 年 2 月

※8 月 29 日（土）、30 日（日）：開講式、集合研修（東京）

◆応募資格

原則 25 歳以上の健康な方で、骨髄バンク事業を理解しコーディネート業務に時間と労力を割くことができる方。ただし、骨髄・末梢血幹細胞移植適応患者やその家族、または特定の患者の支援活動をしている方は除きます。

◆応募締切

平成 27 年 8 月 6 日（木） 応募書類必着

*書類選考と電話での面接を経て受講者を決定します。

2 「アドバイザリーボード」で活発な意見交換

「第3回アドバイザリーボード」が5月20日に開催され、17人のメンバーがドナープールの高齢化や若年層における骨髄バンクの知名度の低さなどについて様々な問題提起や意見交換を行いました。メンバーからは「患者さんがCMに出て登録を呼びかけては」「義務教育で骨髄とは何かを教えるべき」といった意見が寄せられました。

大学での事例として、早稲田大学や広島国際大学などの取り組みが紹介されました。また医学生に骨髄移植の講義をしたところ「誤解していた」「見方が変わった」という感想が多かった、という報告もありました。

3 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は88施設です。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

- ・採取施設
- ・移植診療科
- 広島大学病院
- 同左 造血器診療科

新規認定施設については、当法人ホームページ>患者さんへ>移植認定病院、または、ドナー登録されている方へ>面談施設一覧でご覧いただけます。

4 臍帯血に関する国際協力について

4月から当法人が窓口となり海外バンクから臍帯血の検索依頼を受け付けています。5月末時点で海外バンクから13件の検索依頼がありましたが、臍帯血の提供には至っていません。また、中部さい帯血バンク、兵庫さい帯血バンクとの業務提携に関する合意締結が完了し、引き続き、他のさい帯血バンクとの合意締結に向けて手続きを進めています。さらにBMDW（世界骨髄バンクドナーデータ集計システム）へ臍帯血ユニットのデータを提供するべく、日本赤十字社と準備を進めています。

5 京都府がドナー助成制度導入。全国で2例目

京都府がドナー助成制度を導入しました。都道府県では埼玉県に続き全国で2例目になります。京都府では府内市町村がドナー助成制度を導入した場合、その費用の半分の補助します。

また、新たに2市で助成制度が導入され、全国で104自治体になりました。制度の内容は各自治体によって異なります。ホームページに問い合わせ一覧を掲載しています。

http://www.jmdp.or.jp/donation/about/post_202.html

【新たにドナー助成制度を導入した自治体】

○足利市（栃木県） ○見附市（新潟県）

6 東京ドームで骨髄バンクドナー登録会開催

5月17日（日）に、読売巨人軍の社会貢献活動「G hands プロジェクト」の一環として、骨髄バンク「ドナー登録会」が、東京ドームで行われ、21名の方が登録しました。

また、東海大学医学部付属病院（神奈川県伊勢原市）の院内学級の子供たちが「ドリームボックス」に招待され、記念撮影に菅野智之投手が訪れました。

You Tube 公式チャンネルでは、菅野投手の応援メッセージを公開しています。骨髄移植をして元気になった元患者の斉木翔太君の写真も登場します。翔太君は、その後順調に回復し、大好きな野球ができるまでになりました。次回の東京ドームでのドナー登録会は、7月31日（金）の予定です。

7 「友情～秋桜のバラード～」2015年公演が決定

白血病治療の副作用で髪の毛が抜け落ちた主人公の14歳の少女を励まそうと、クラスメートが頭を丸め、彼女を温かく迎え入れたという米国での実話に基づく感動の舞台「友情～秋桜のバラード～」が7月21日（火）、東京都目黒区のめぐろパーシモンホールを皮切りに全国で上演されます。同公演は、初演から上演回数500回目を突破しました。担任教師役で昨年に続き松方弘樹さんの出演が決定しています。詳細は劇団絵生のホームページをご覧ください。 <http://www.yu-jo.net/>

8 全国骨髄バンク推進連絡協議会の「日本縦断キャラバン」が当法人を訪問

特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会は、設立25周年記念事業のひとつとして「日本縦断キャラバン」を行っています。4月24日（金）に沖縄県庁を出発後、6月1日（月）に当法人を訪問しました。キャラバンの車体は、今まで訪れた各地の方々からのメッセージで赤い水玉模様になっており、当法人の理事長もメッセージを記載しました。詳細は同協議会のホームページをご覧ください。 <http://www.marlow.or.jp/>

9 骨髄ドナー支援チャリティー公演「LIFE」公演終了

5月21日（木）～24日（日）の4日間、築地本願寺ブディストホールで骨髄ドナー支援チャリティー公演「LIFE」が上演され、盛況のうちに幕を閉じました。マフィア抗争により引き裂かれた男女と「白血病」、「LIVE FOR LIFE」（生きるために生きる）を題材にした舞台は、ドナー登録についてのメッセージが織り込まれ、生きることの大切さが伝わる内容でした。リブ・フォー・ライフ美奈子基金ブースでは募金活動が行われ、当法人は、骨髄ブースでの登録説明やパンフレット配布を行いました。

10 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
第4回通常評議員会	公開・一部非公開	6月28日（日）13：00～廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	7月21日（火）17：30～廣瀬第2ビル地下会議室



コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

11 HLA 適合検索評価の変更に関するご意見の募集について<医師の方へ>

「最近の知見から、HLA-A, B, C, DRB1 それぞれのローカスの不適合が移植成績に与える影響は、ほぼ同等に評価すべきであり、適合検索評価点の見直しを行なう方針が妥当である」との提言が HLA 委員会（日本赤十字社）によりなされ、これを受け当法人医療委員会等で検討を重ねてきました。

この度、新しいアルゴリズムによる HLA 適合検索評価を導入する予定ですが、患者コーディネーターに係わる医師の皆様には、事前にご意見（パブリックコメント）をお伺いします。（締切：7月2日（木））

詳細は、当法人ホームページ>新着情報をご覧ください。

12 2015 年 全国調査 本登録データ提出のお願い<移植施設の方へ>

6 月 10 日に日本造血細胞移植データセンター（JDCHCT）／日本造血細胞移植学会（JSHCT）から「2015 年 全国調査 本登録データ提出のお願い」が発出されました。提出期限は 9 月 30 日必着となっておりますのでご対応のほど、よろしくお願いいたします。

詳細は、別添「2015 年 全国調査 本登録データ提出のお願い」をご確認ください。

13 ドナー最終同意確認時の後続ドナー終了ルールの見直しについて

これまで、第一候補ドナーの最終同意が確認されると、確認検査日程未定の後続ドナーはコーディネーター終了としていました。医師から、後続ドナーをできるだけ進めておきたいとの要望があったため、下記のとおりルールを見直しました。

1. 変更点<第一候補ドナーの最終同意総合判定時>

■ 変更前

- ① 確認検査日程決定ドナーは進行について医師に意向確認し進行可能。
- ② 確認検査日程未定ドナーは終了。

■ 変更後

- ① 地区開始後のドナーは原則として進行する。
- ② 地区開始前のドナーは終了。

※ なお、次の点は変更ありません。

- 確認検査済みドナー（最大 4 名）は第一候補ドナー術前健診「適格」まで保持可能。
- 後続ドナーが全員、確認検査日程未定の場合、医師が希望すれば 4 名まで進行可能。

2. 対応開始日

6 月 17 日（水）から対応します。